

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和元年4月に全国学力・学習状況調査が実施されました。市内の小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒がこの調査を実施しましたので、この結果を公表いたします。

白井市教育委員会

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 白井市における調査の実施状況

(1) 調査期日

平成31年4月18日(木)

(2) 調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒

(3) 調査内容

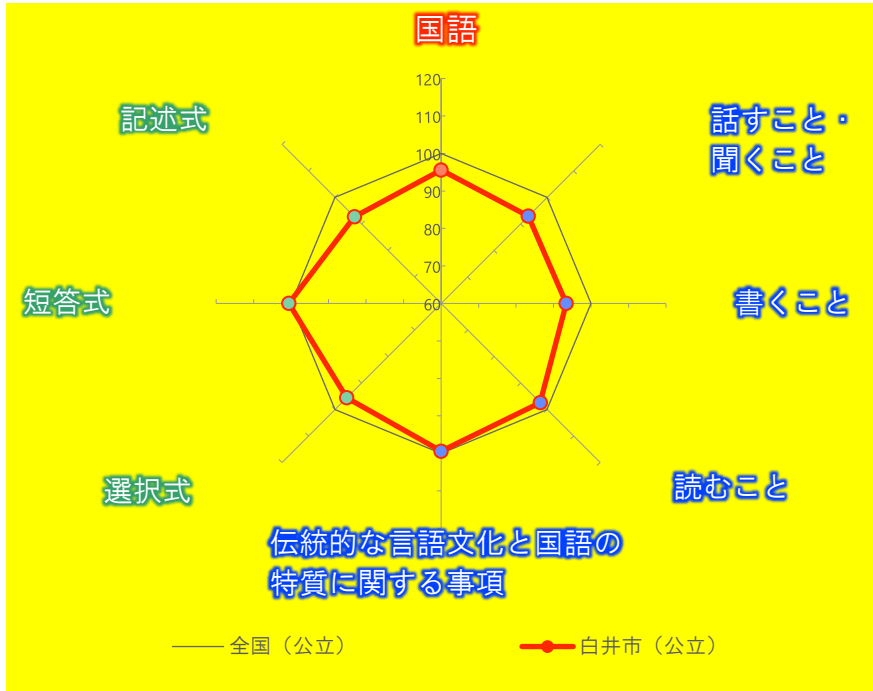
○小学校第6学年

- ・教科：国語・算数（各45分）
- ・質問紙調査（学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する調査）

○中学校第3学年

- ・教科：国語・数学（各50分）
英語（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」45分
「話すこと」5分）
- ・質問紙調査（学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する調査）

<小学校国語>



国語
正答率は、全国の正答率を下回っている。

話すこと 聞くこと

- ◇話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、質問をすることができる。
- ◆話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題がある。

書くこと

- ◇図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができる。
- ◆目的や意図に応じて、自分の考えの理由や根拠を明確にし、まとめて書くことに課題がある。

読むこと

- ◇目的に応じて、文章全体を効果的に読むことができる。
- ◇目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読むことができる。
- ◆文章を効果的に読むことはできているが、記述式の解答に課題がある。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

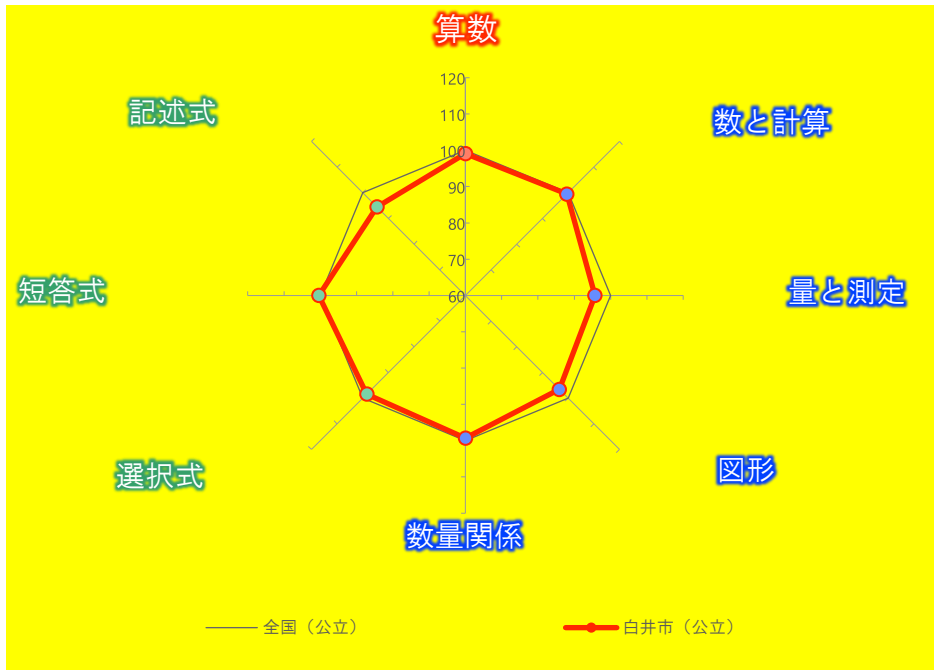
- ◇ことわざの意味を理解し、使うことができる。
- ◆文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を適切に用いることに課題がある。
- ◆同音異義語の意味の違いを抑え、使い分けすることに課題がある。

授業改善のポイント

- ◇→ほとんどの児童ができている。
- ◆→課題がある。

- 文章の内容を的確に捉えるためには、文章に書かれている話題、筆者の考え、構成の仕方に注意しながら繰り返し読むよう指導していく。
- 漢字の学習指導に当たっては、新出漢字を読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、漢字の持つ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるよう指導していく。
- 話すこと・聞くことの必要性の感じることができる話題の設定や成果を生かす場の設定を行う。また、話し合い活動を振り返る学習も充実していく。
- 文章を書く際は、事実と考えを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりしながら書くように指導していく。

< 小学校算数 >



算数
正答率は、全国の正答率をやや下回っている。

数と計算	<p>◇示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。</p> <p>◆示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題がある。</p>
量と測定	<p>◆示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題がある。</p> <p>◆資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述することに課題がある。</p> <p>◆示された場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、所要時間の求め方と答えを記述し、その結果から判断することに課題がある。</p>
図形	<p>◇台形について理解していることができる。</p> <p>◆図形の性質や構成要素に着目し、図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、ほかの図形を構成することに課題がある。</p>
数量関係	<p>◇棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。</p> <p>◆二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を記述することに課題がある。</p>

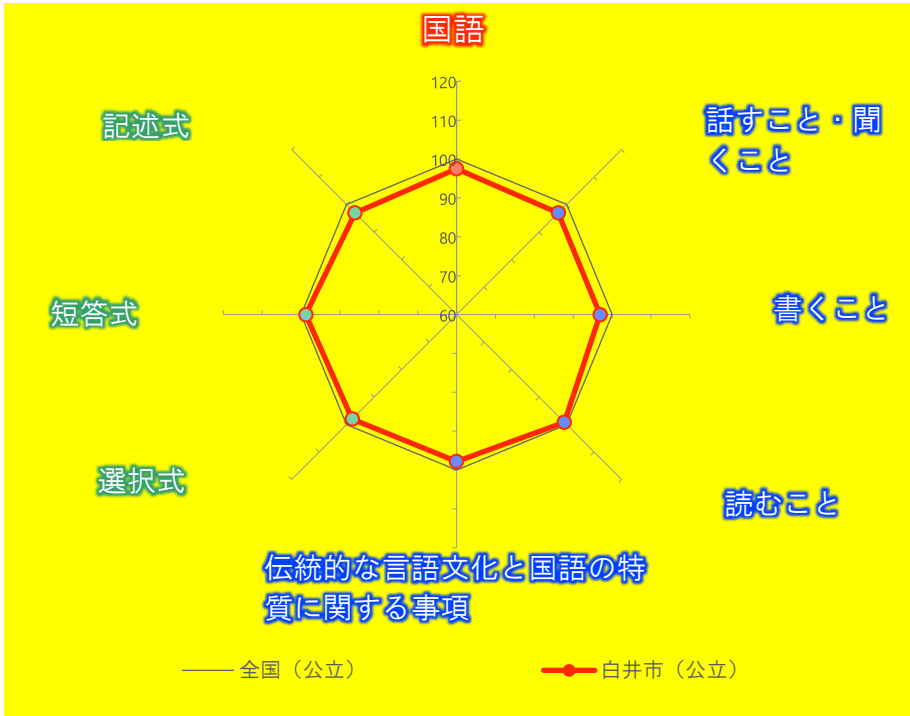


授業改善のポイント

◇→ほとんどの児童ができている。
◆→課題がある。

- 適用する数の範囲を広げていながら統合的・発展的に考え、計算に関して成り立つ性質を見だし、表現できるようにする。
- 場面の状況を解釈し、数量の関係に着目して筋道を立てて考え、数学的に表現・処理し、得られた結果から判断できるようにする。
- 図形の性質や構成要素に着目し、観察や構成などの活動を通して図形についての実感的な理解を深めることができるようにする。
- グラフから資料の特徴や傾向を読み取るとともに、複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断できない事柄についても判断できるようにする。

< 中学校国語 >



国語
正答率は、全国の正答率をやや下回っている。

- 話すこと 聞くこと**
 ◇話し合いの話題や方向性を捉えることができる。
 ◆相手にわかりやすく伝えることや、話し合いの話題や方向性を的確に捉えて自分の考えを持つことに課題がある。
- 書くこと**
 ◇語句や文の使い方、段落相互の関係などを理解し、わかりやすい文章を書くことができる。
 ◆資料の中から取り出した情報を基に、自分の考えを読み手にわかりやすいように書くことに課題がある。
- 読むこと**
 ◇文章の要旨を捉えたり、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することができる。
 ◆場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解することに課題がある。
- 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項**
 ◇語の一部を省いた表現について、文章の中での活用の仕方を理解している。
 ◆封筒の書き方を理解し、正しく書くことに課題がある。

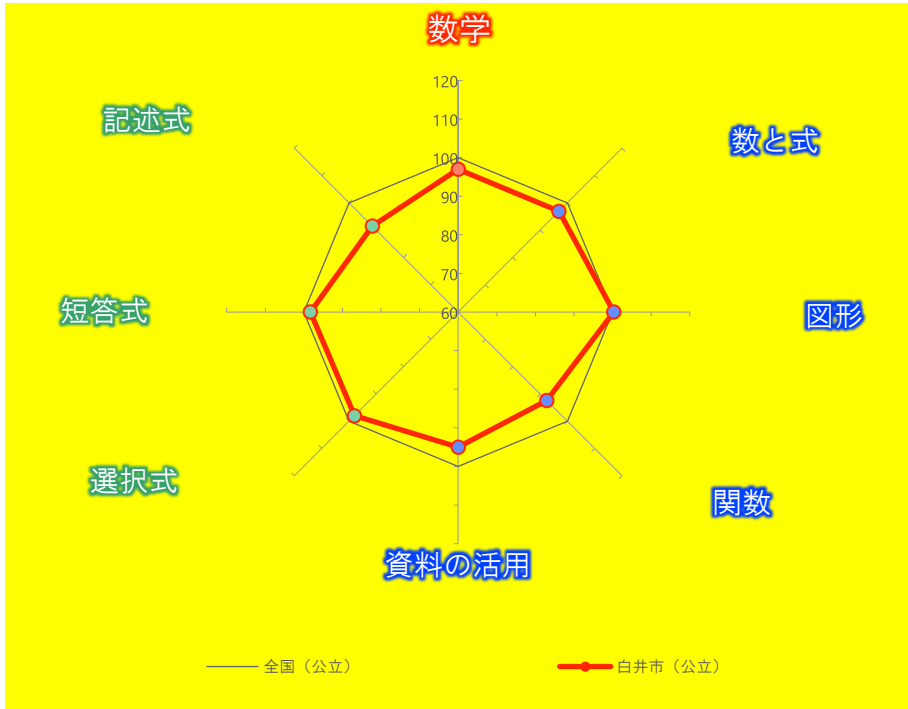


授業改善のポイント

◇→ほとんどの生徒ができています。
◆→課題がある。

- 話し合う活動を行う際、話し合いの仕方を見直したり、実際に話し合いの記録を取ったりする活動を取り入れる。
- 課題に沿って、文章や図表などから必要な情報を取り出して、それらを根拠として説得力のある文章を書く機会を設定する。
- 論説や報道などに盛り込まれた情報を整理し、目的に応じて要約する活動を取り入れる。
- 事象や行為などを表す多様な語句を、どのように用いるべきか考える場面を設定する。

< 中学校数学 >



数学
正答率は、全国の正答率を下回っている。

数と式	<p>◇連立二元一次方程式を方針に基づいて解くことができる。 ◆与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることに課題がある。</p>
図形	<p>◇平行移動の意味を理解しており、図形の移動の特徴を的確に捉えることができる。 ◇証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解できている。 ◆結論が成り立つための前提を考え、新たな事象を見だし、説明することに課題がある。</p>
関数	<p>◆関数関係にある事象について、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 ◆関数関係にある事象について、数学的な結果を事象に即して解釈することに課題がある。</p>
資料の活用	<p>◇確率を用いて不確定な事象を捉え考察する場面において、事象に即して解釈したことを数学的に表現することができる。 ◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p>

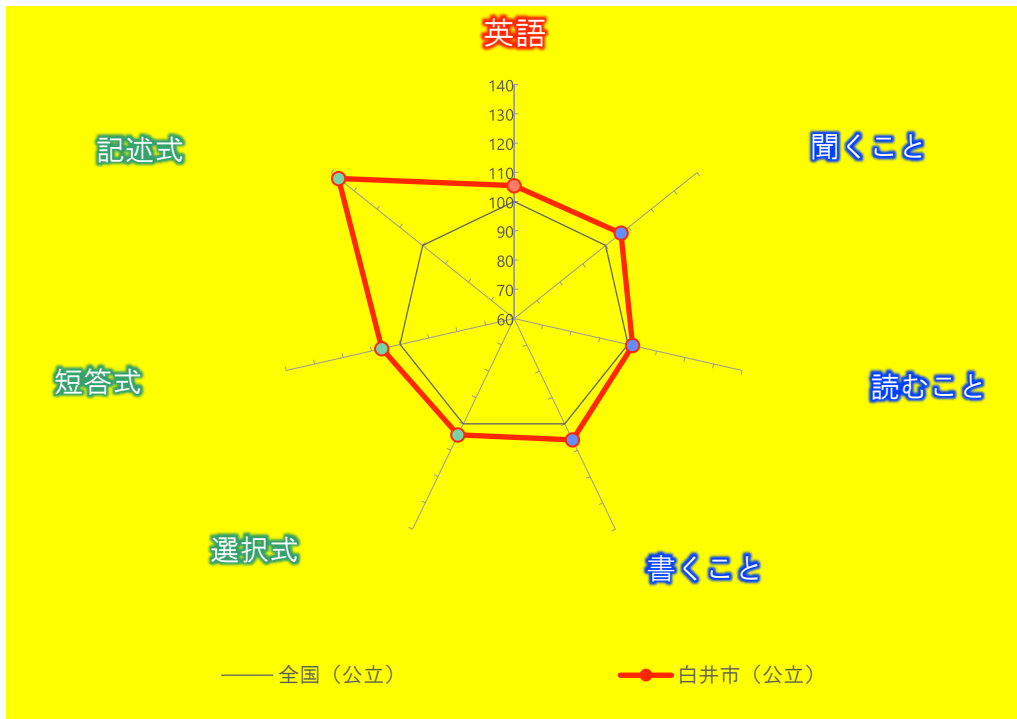


授業改善のポイント

◇→ほとんどの生徒ができている。
◆→課題がある。

- 問題解決の構想や見通しを立て、問題解決の方法について説明する活動を重視する。
- 説明させる際に、それぞれの説明について比較し吟味したり、どのようなところに着目しているかを問い返すなどして、説明を洗練させていく活動を取り入れる。
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する活動を充実させる。
- データの分析の傾向を読み取り、判断することを通して、統計的に問題解決する活動を取り入れる。

< 中学校英語 >



英語
(聞くこと・読むこと・書くこと)
全国の正答率より上回っている。

英語(話すこと)
全国の正答率(但し、参考値)より上回っている。

※今回の調査については、国が参考値として集計しています。よって、グラフでの公表は行いません。

聞くこと

◇自然な口調で話される英語を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。
◆質問や依頼などを聞き、それについて適切な応答を書くことに課題がある。

読むこと

◇日常的话题について書かれた簡単な英文を正確に読み取ることができる。
◆読んだ内容について、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解することに課題がある。

書くこと

◇英語の基本的な語や文法事項の知識を活用し、適切な語を選んだり、書いたりすることができる。
◆文と文のつながりなどに注意して、まとまりのある英文を書くことに課題がある。

話すこと

※参考値をもとに分析。
◇問われていることが分かれば、何とかして自分の考えを伝えようとする意欲が見られる。
◆目的、場面、状況に応じて、即興でやりとりすることに課題がある。



授業改善のポイント

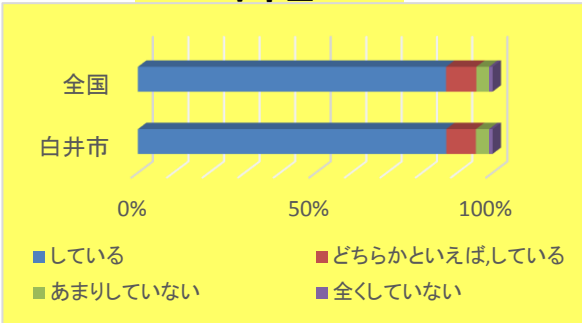
◇→ほとんどの児童ができている。
◆→課題がある。

- 英語のやり取りをする中で、実際に聞いて応じる活動を継続的に設定する。
- 読むだけにとどめず、英語で書かれた文章の課題について、自分の考えを話したり、書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動を取り入れる。
- 「何を、どのように書けばよいか」を、内容、文章構成、語彙や表現の面で具体例を挙げながら指導し、書く活動を意図的に増やす。

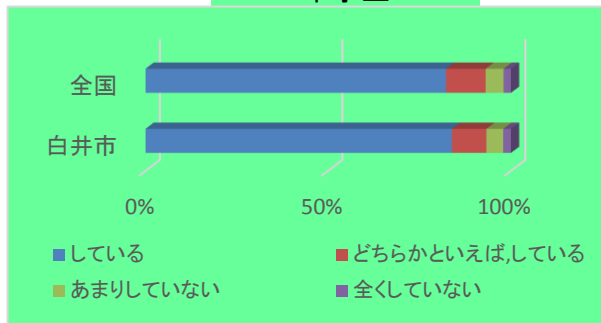
1 生活習慣について

朝食を毎日食べていますか。

小学生



中学生

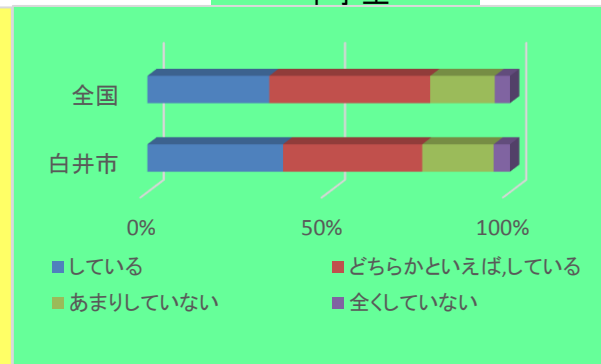


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

小学生



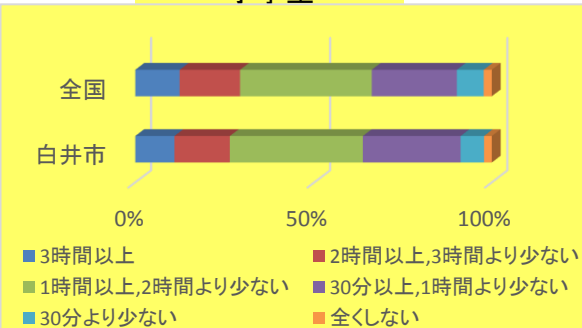
中学生



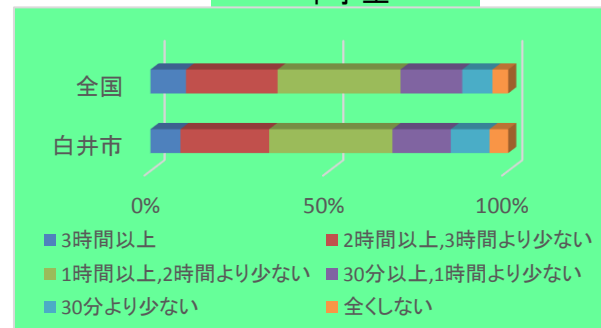
2 家庭学習について

学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師に教わっている時間を含む)

小学生

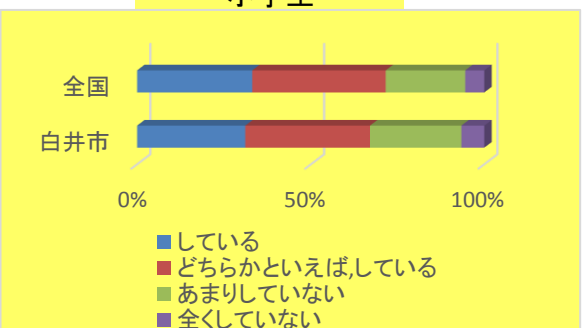


中学生

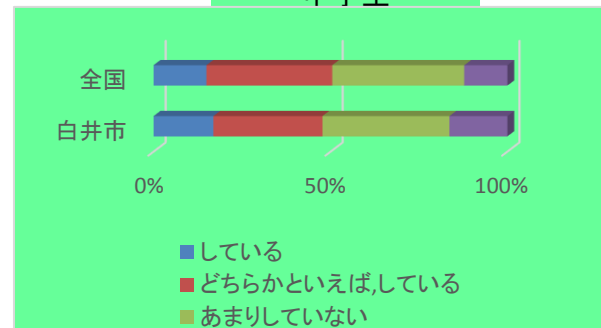


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

小学生



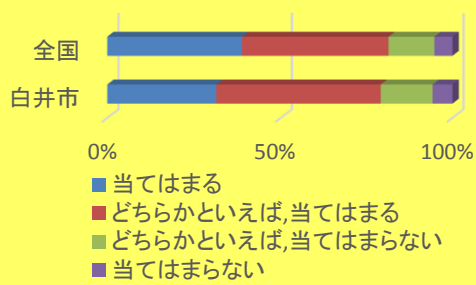
中学生



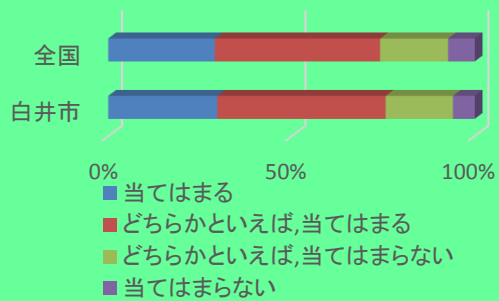
3 意欲・自己肯定感について

自分には、よいところがあると思いますか。

小学生

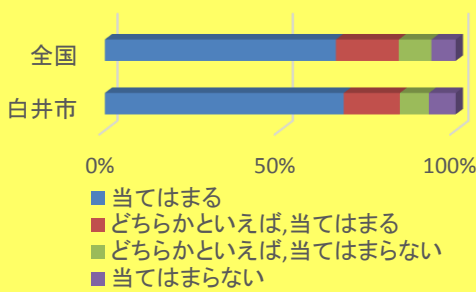


中学生

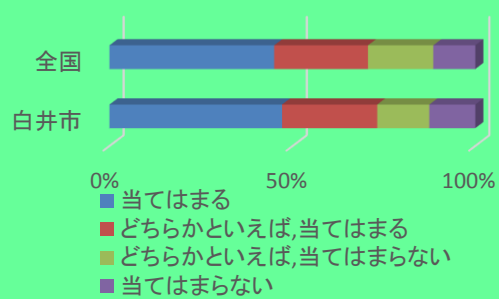


将来の夢や目標を持っていますか。

小学生



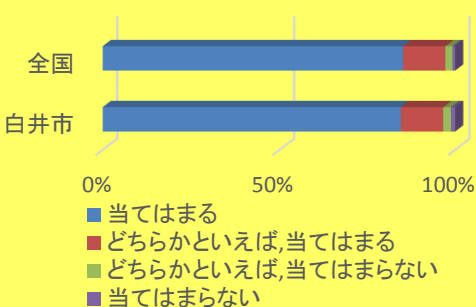
中学生



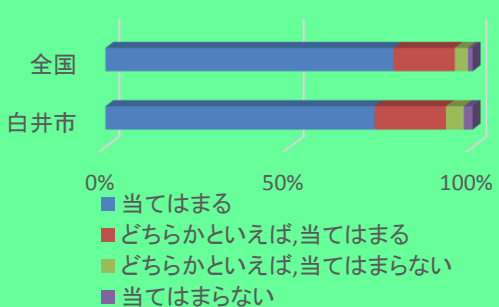
4 人間関係について

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

小学生

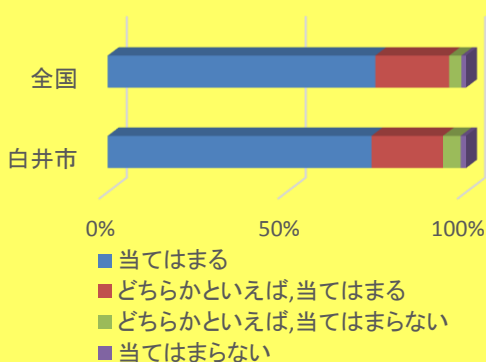


中学生

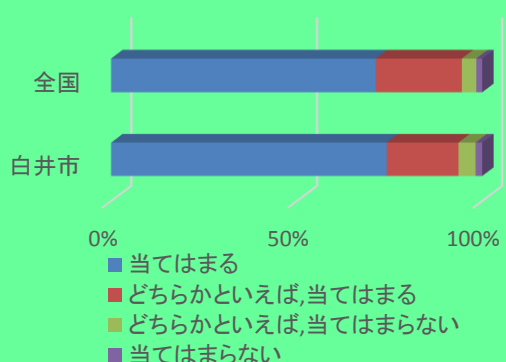


人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

小学生

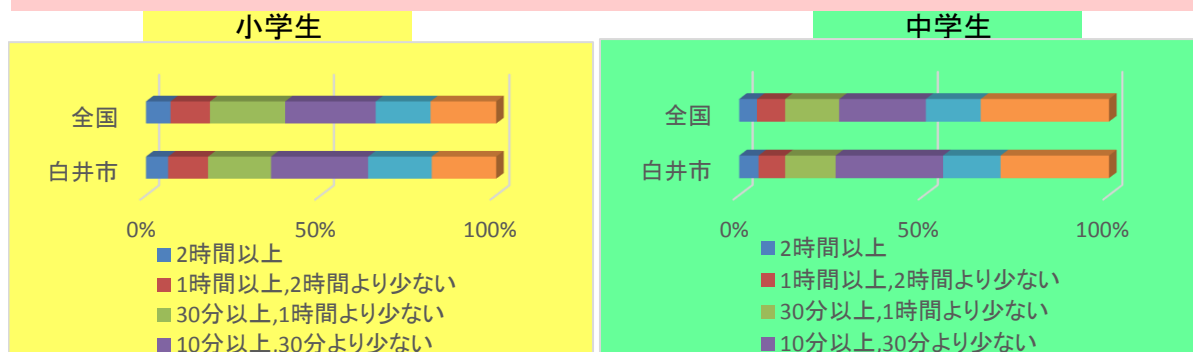


中学生



5 読書について

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



【白井市の子どもの様子】

○「朝食を毎日食べていますか」の質問には、小学校・中学校ともに全国平均を上回っているのに対し、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」や「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問には、小学校・中学校ともに全国平均を下回っている。規則正しい生活習慣について、さらなる改善の必要がある。

○「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問には、小学校・中学校ともに全国平均を下回っている。中学校では、全くしないが5.2%、30分より少ないが10.8%と昨年度以上に勉強離れが見られる。家庭と連携しながら、家庭学習の大切さを子どもたちにも保護者にも伝えていく必要がある。

○78.6%の児童が、75.6%の生徒が自分を肯定的にとらえている。中学校では昨年度より肯定的にとらえる生徒が増え、全校区平均を上回ったが、小学校では、昨年度より減少し、全国平均を下回った。学校生活において、一人一人の子どもの活躍する場を確保し、自己肯定感・自己有用感をさらに高めていくことが大切である。

○小学校の「算数の勉強は好きですか」については、全国平均とほぼ同等だが、普段の生活の中での活用することについては、意識している。中学校では、「数学・英語ともに勉強は好きですか」の質問について、全国平均を上回っており、特に英語では将来の職業につなげたいと考えている生徒が多い。

○白井市では、各学校に読書活動推進補助教員を配置している。この効果が出ているようで、白井市の子どもは読書好きである。特に中学校では読書が好きである生徒が全国平均を上回っており、朝の読書タイム、授業での図書の利用等の成果が現れていると考えられる。今後も読書活動をさらに推進していく必要がある。